

# 『往復はがき』<sup>で</sup> de お寺と文通



2012年1月13日

高川 智美

※平仮名の「で」をローマ字で記すと印相のかたちに似ているかなと思い、ローマ字表記にしてみました。

お寺の門前には よく「訓話」が掲示されている  
「訓話」のよいところは 宗派を問わず 誰もがわかりやすい  
平易な言葉で コンパクトに纏められていること  
メモをとったり 携帯カメラで写真をとってる人が 意外と少ない  
老若男女問わず お寺の前で足を止める キッカケとなっている  
折角 地域の人たちがお寺の前で足を止めている  
両者（お寺&地域の人たち）を繋ぐことができないか？

お寺と地域の人たちのコミュニケーションを深めるために・・・



# 提案：『往復はがき』 de お寺と文通

～目的：訓話の配信（往復書簡文通）による、お寺と地域の人たちとの双方向コミュニケーションのきっかけづくり～

## <現状>

- お寺が訓話を掲示し、地域の人たちが立ち止まって見る
  - 「お寺→地域の人」という、一方向コミュニケーション
- 地域の人たちが訓話の文言を携帯写真やメモで持ち帰ったりしている
  - 地域の人がお寺の前で足を止めている・・・両者を繋げられないか

## <提案>

- 訓話に興味がある地域の人たちに、好きなお寺（本提案協力寺院）に往復はがきを送り、お寺で訓話を印刷し、返信する
  - オプションで地域の人たちから訓話へのコメントやお寺への要望を書いてもらう
  - オプションでお寺から訓話に加えて、お寺のイベントやお坊さんのコメント、はがき片面に収まるメリハリあるコンパクトな内容を紹介する
- 「お寺と文通」を古くて新鮮なキャッチフレーズとして打ち出す
  - 強制ではなく、あくまでもお互いのペースでやるという雰囲気づくり
  - 止めたいときは往復はがきを送らなければよい、またいつでも再開可能にという緩い関係性で・・・



# なぜ『往復はがき』か？

- 電子媒体（携帯・Web等）は便利であるが、今の時代、ちょっとした**一手間かけたやりとりが暖かみを感じる**
  - 郵便ポストに何かが届くって嬉しいものですよね・・・
- はがきの良さは、形ある紙なので、壁に貼れる、デスクに置く、本のしおりにしたり、いろいろ工夫できるところ
  - パソコンや携帯など使い方がわからない人たちにも親切
  - **御朱印より気軽に**始められる（お寺への敷居を低くする）
- **投資費用を抑えられる**
  - 往復はがきの印刷であれば、家庭用プリンターでも可能なのでお寺で発生する費用を抑えることができる
  - 往復はがきは個人でも負担感が少ない金額

